

令和元年9月5日（木）

保健室前の掲示板は、子ども達が、見て楽しみながら保健の知識を学ぶことができるように、毎月、掲示物が工夫されています。

9月は、救急の日（9月9日）にちなんで、『正しいケガの手当てを考えよう』がテーマの掲示です。

「すり傷ができた」「鼻血が出た」「打撲（ぶつけた）」時に、最初にする対応を3つの選択肢の中から選び、毛糸で作られた迷路をたどっていくと答えが分かる仕組みになっています。今日は、5歳児さんが保健室に来た帰りに、養護教諭と遊びながら、どの手当てがいいのか考えていました。

校内には、他にも委員会の児童生徒や先生達が考えた掲示物がたくさんあります。毎日目にしているものも、ちょっと立ち止まって見ると、新たな学びに出会えると思います。

